林野庁長官賞

IT等の活用による生産流通の合理化・効率化
－一般消費者に向けて木の情報発信基地－

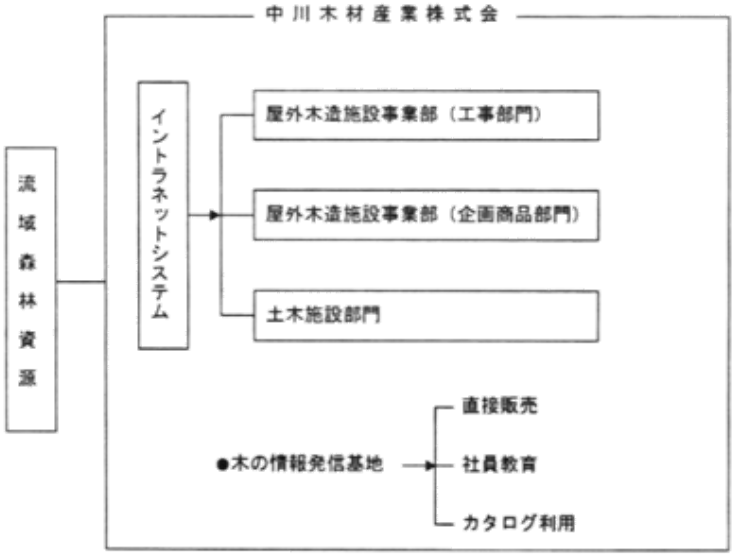
中川木材産業株式会社（代表者　代表取締役　中川　勝弘）

□事業体の構成

正社員13名、契約社員4名、パート・アルバイト8名
屋外木造施設事業部（工事部門）
屋外木造施設事業部（企画商品部門）
土木建設部門

〒587-0042
大阪府南河内郡美原町木材通1-11-13
電話072-361-5501　FAX072-362-3341

□事業の仕組み



□事業の実績　（目的、事業内容の概要等）

　昭和54年、本社、4支店のオンライン化を図り、次々とシステムの拡充に努め、平成9年に現行のイントラネットシステムを構築した。会社の得意商品である屋外木造施設を中心に先導的な流通システムを確立し、営業戦略にITをフル活用するなど、木材業界におけるオンリーワンを目指している。

また、平成7年12月より「木の情報発信基地」を立ち上げ、現在、累計訪問者数が65万人を突破している。単なる情報提供にとどまらず、カタログとしての利用及びテーマごとのCD－ROMの作成等で顧客への直接販売、社員教育等、幅広く活用している。

① 屋外木造施設事業部（工事部門）

1. 西日本にある7～8割のフイールドアスレチックの企画・設計・施工
2. 国際花と緑の博覧会の屋外木造施設、エクステリアの企画・設計・施工
3. 和歌山リゾート博覧会のボードウォークの施工
4. ユニバーサルスタジオの屋外木造施設、エクステリアの企画・設計・施工

② 屋外木造施設事業部（企画商品部門）

1. 日本初のDIYキットのウッドデッキを開発（生産量はトップクラス）

③ 土木仮設部門

1. 土木仮設材、造園資材、土木沈床資材等

□現地調査結果の概要

調査担当　事務局　後藤　武夫
（日本木材総合情報センター専務理事）
事務局　岡田　　寔
（日本木材総合情報センター）

1. 会社の概要

中川木材産業株式会社は、創業91年の老舗で、従業員23名、屋外木造施設、エクステリア、土木仮設材、ウッドクラフトに特化した事業を行っている。

2. IT等の活用の概要

（1） 一般の消費者向けに、木の情報発信基地と題したホームページを平成6年に立ち上げ、最近では、月2万回を越すアクセスのあるページとなっている。
（総アクセス数約68万回）
内容は、木材に関するあらゆるデータを分かり易く表示し、総ページは、8,000ページ、写真画像1万枚以上に亘っている。
なお、一部、自社のエクステリア、クラフト製品も紹介し、注文もメール等で受け付けている。

（2） 木材工業団地のIT化
大阪府が造成した美原木材工業団地内の50社で構成する協同組合の事務を中川社長がIT化し、構成各社をオンラインで結び、協同組合の事務合理化に寄与している。

（3） 自社事務のIT化
昭和54年、当時の電電公社のDRESSシステムにより、在庫管理を電算化し、以後、データを蓄積し、システムの改良を重ね、パソコンによる社内オンライン化、ペーパーレス化を進め、効果を上げている。
また、携帯電話とインターネットを使った訪問情報共有システムを開発し、受注等の情報を即時共有化し仕事の流れを合理化している。

3. 今後の方向

木の情報発信基地については、長年蓄えられた木に関する電子情報化されたデータベースから、さらに有用なデータを追加して充実していくこととしている。

木材団地のIT化についても、各社の仕様の統一化を進め、ペーパーレス化した理事会の開催等を行っていく。

社内ランについても、会議等を含めてペーパーレス化を進め、携帯電話を利用したシステムも拡充し、資料等のバックアップ体制も十分なものとしていくこととしている。